

モバイル電源あわせーる(昇圧コンバーター内蔵型) 取扱説明書

■概要

「モバイル電源あわせーる」は2つのモバイル電源を合わせて一つのモバイル電源として使用できます。これにより以下の効果があります。

電源運用時間を延ばすことができます。
余ったモバイル電源を有効利用できます。
電流出力能力を上げることができます。
電力使用中にバッテリー交換が可能です。
突然バッテリーがなくなるリスクを軽減できます。(バッテリーバックアップ機能)

この商品は、1chまたはオプションで2chの昇圧コンバーターを内蔵しています。
それぞれ、5V～12Vの可変です。

■内容物

本体

外形 5.5φ 内径 2.1φDCプラグ(ロック式)

外形 4φ 内径 1.7φ(EIAJ#2)コード付きプラグ(昇圧コンバーター増設オプション選択時)

■使用例



■入力側

モード切替スイッチ

上側	電流共有モード	供給電流を2つのモバイルバッテリーでほぼ半々ずつ共有します。 完全な半々ではありません。 片方のバッテリーの残量がなくなり、電圧が下がるとそのバッテリーは切り離されます。残りのバッテリーがすべて負担します。
下側	OR 接続モード	電圧の高い方のバッテリーからより多く電流を供給します。 電圧の低い方は、場合によっては、まったく電流を供給せず、バッテリーのパワー OFF 機能が働いてしまう場合があるので注意してください。

バッテリーを一つしか使用しない場合は、「OR 接続モード」にしてください。「電流共有モード」でも使用できますが、多少電力損失があります。



LED について

LED はそのバッテリーが少しでも電流を供給していれば点灯します。バッテリー残量がなくなり電圧が下がると、切り離されますので、LED は消灯します。

LED 点灯中でもバッテリー交換は可能ですが、交換中はすべての消費電流が一つのバッテリーにかかりますので、一つのバッテリーの供給能力を超える運用をしている場合は注意してください。

一つの電源から 1A 以上使用することが想定される場合はなるべく太い USB ケーブルをご使用ください。

■電流共有モード、OR 接続モード。どちらにすればよい？

- 1 バッテリー一個の場合は、OR 接続モード(スイッチ下)にしてください。
- 2 両方とも同じ種類のバッテリーで、どちらも満充電の場合は、電圧は同じなので、どちらのモードも同じです。(OR 接続モードでも電流が共有されるため)したがって、損失の少ない OR 接続モードが有利です。
- 3 一個のバッテリーで十分供給能力があり、交互にバッテリーを交換しながら使う場合は、OR 接続モードが便利です。
- 4 上記以外は、電流共有モードが良いでしょう。

■出力側



第1電源

5V~12Vの可変で、出荷時指定がない場合は8Vに設定されています。

コネクタは、外形5.5φ内径2.1φDCジャックのロック式です。

ロック式なので、差し込んだら少し時計回りに回してください。外す場合は逆です。

第一電源は主に、デジカメでの使用を想定しており、SS-oneショップで販売しているデジカメ用DCケーブルがそのまま使用できます。

第2電源

5V~12Vの可変で、出荷時指定がない場合は12Vに設定されています。

コネクタは外形4φ内径1.7φ(EIAJ#2)のDCジャックです。

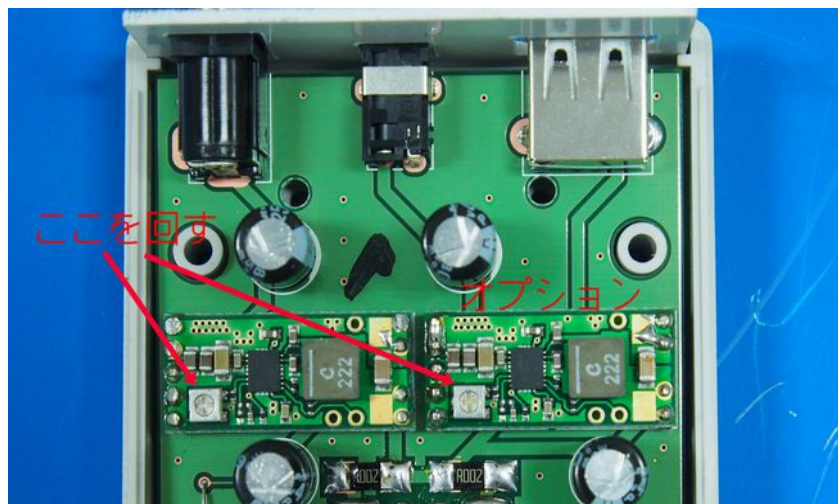
5V電源

USBコネクタです。USBヒーターやスマホ充電などに使用できます。

■電圧の変更

テスターがあればユーザにて電圧を変更することが可能です。

裏ぶたの4本のネジを外します。



上カバーを外します。

テスターで電圧を図りながら、矢印のボリュームを回すと電圧を変更できます。

マイナスの精密ドライバーが使いやすいです。

5 V~12 V 以外の電圧にはしないでください。